

かいのくに子ども観光大使2017 さくらんぼ狩りを体験しよう

2017.6.11 (日)

南アルプス市飯野農園さくらんぼ園



さくらんぼ狩りを体験しよう

宝石のような輝き さくらんぼ

「さくらんぼ」宝石のように輝く山梨の初夏のフルーツの代表格。

今回の子ども観光大使の活動では、山梨の味覚「さくらんぼ」について学び、保護者と一緒にさくらんぼ狩りをしたり、サイズ分け・箱入れをしたりすることで、自分たちの住んでいる山梨のことを新しく知って、もっと山梨のことを好きになる、そういった活動を行いました。

子ども25名（園児未満1名も含む）・大人14名、合計39名の参加者にお集まりいただき、大人数のなかで、楽しく活動をすることができました。

保護者と一緒に考えた 山梨の初夏の味覚

今回、子ども観光大使たちは、さくらんぼについて学びました。

日本で栽培されるさくらんぼの種類や品種、おいしいさくらんぼの見分け方のコツなどについて学びました。

学んだあとは検定試験です。お友達と協力したり、保護者に聞いたり、観光大使たちは大忙しです。

さあ、いよいよ答え合わせ。ドキドキしながら丸つけの様子を見守る観光大使。「合格！」の声に大喜び。観光大使が誕生した瞬間でした。



子ども観光大使とは

自分たちの住んでいる市町村の、今まで知らなかった良さに気づくことができる子ども、自分たちの住んでいる市町村のことがもっと好きになって、誇りを持てるようになる子ども、そして、知ったり学んだりした良さを発信していく子ども。それが子ども観光大使です。

山梨県だけでなく、静岡県や栃木県、山形県などでも、子ども観光大使が数多く生まれています。子どもが地元地域のことを好きになり誇りを持ってくると、とても好評です。

子ども観光大使になるための3つの条件

- ①子ども観光大使の講座に3回以上参加すること
- ②観光ハガキ・観光俳句・観光動画のいずれかで、山梨の良さを発信すること
- ③「子ども観光大使検定」に合格すること



子ども観光大使は、農家の仕事を体験しました。さくらんぼを出荷する際にサイズ分けをする「ゲージ」を使って、S・M・L・LLのサイズに分けていきます。「こんなふうにしてサイズ分けするんだ」という声も聞こえてきました。小さい観光大使は、保護者と一緒にサイズ分けを行い、一安心。最後は、軸がとれないようにパック詰めして完成。子ども観光大使とお母さんとの会話もとても楽しそうです。

子ども観光大使と保護者が一緒に活動することで、地域のことを好きになるだけでなく、お互いの良さも改めて知り合うこともできます。



かいのくに子ども観光大使2017 さくらんぼ狩りを体験しよう

数多くの観光大使が誕生しました！



参加した方々の感想

- 山梨に住んでいながら、なかなかさくらんぼ狩りをする機会もなく、良い経験でした。また、農家の方が大きさをゲージではかって、仕分けをしていることもはじめて知り、勉強になりました。さくらんぼもとても艶やかで甘くておいしかったです。
- さくらんぼは、山梨に住んでいながらあまり食べる機会がなく、今回は久しぶりにさくらんぼ狩りをしました。とても楽しく、おいしいさくらんぼが食べられてよかったです。
- 大変楽しかったです。さくらんぼが美味しく満足です。
- 山梨に住んでいますが、はじめてさくらんぼ狩りをしました。とりたてのさくらんぼはとてもおいしかったです。
- 地元に住んでいながら、さくらんぼ狩りははじめての体験でした。新鮮で赤く玉の張ったさくらんぼは、とてもおいしく、たくさんいただきました。いろいろな種類の食べ比べができ、楽しかったです。また、種飛ばしやクイズも子どもは楽しい、親は勉強になりました。
- いろいろな種類のさくらんぼを食べ比べることができて、それぞれの味の特徴を知ることができました。種飛ばしも楽しんでいました。
- はじめてだったので、楽しくできました。
- 小学校の授業では体験できないことができ、よかったです。
- サイズ分けや箱詰めが楽しかったです。